

臨床検査部

血液・尿・便・痰で調べる検査 → **臨床検査室**
(東棟2階25番)
患者さんに触れて調べる検査 → **生理検査室**
(東棟3階35番)



こんな検査をしています

(1 疾患例 2 症状例 3 検査項目)

脳

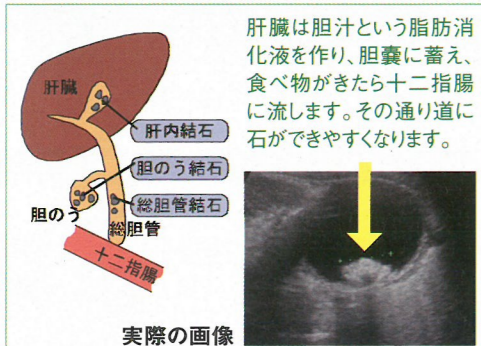
- てんかん・脳炎・髄膜炎・機能低下…
- ひきつけ・意識障害・意識消失…
- 脳波・ウイルス細菌検査(脳脊髄液)…

肝臓

- 脂肪肝・肝硬変・ウイルス性肝炎…
- 全身倦怠感・黄疸…
- Bil・AST・ALT・LDH・γ-GT・ChE・TP・ALB・NH3・B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルス・腹部超音波…

胆嚢

- 胆石・ポリープ・胆嚢炎…
- みぞおち～右上腹部背部の痛み・黄疸…
- γ-GT・ALP・LAP・Bil・尿検査・腹部超音波…



肝臓は胆汁という脂肪消化液を作り、胆嚢に蓄え、食べ物がきたら十二指腸に流します。その通り道に石ができてやすくなります。

甲状腺

- バセドウ病・橋本病…
- 新陳代謝の異常(活発または低下)…
- TSH・FT3・FT4・甲状腺超音波…

心臓

- 心筋梗塞・狭心症・不整脈・心筋炎…
- 胸の痛み・動悸・脈がとぶ…
- AST・CK・トロポニンT・proBNP
心電図・運動負荷検査・24時間心電図
心臓超音波…

膵臓

- 膵炎・糖尿病…
- みぞおち～背部の痛み・悪心・嘔吐・アルコールや脂肪をとると痛みが増す…
- AMY・インシュリン・尿検査・腹部超音波…

腎臓

- 腎炎・腎結石・ネフローゼ・高血圧・貧血…
- 背部の痛み・血尿・蛋白尿…
- BUN・Cr・UA・尿検査・腹部超音波・ウイルス細菌検査…

動脈・静脈 血管系

- 動脈硬化・糖尿病・解離・瘤・血栓…
- めまい・足のしびれ・息苦しさ…
- コレステロール・HDL-C・LDL-C・中性脂肪・腹部超音波・頸動脈超音波・下肢血管超音波…



例えば頸動脈超音波では、内部の血管のつまり具合が分かります。

実際の画像
動脈硬化が進むと血管壁が厚くなります。

臨床検査部では、検査の迅速な結果報告を心がけており、生化学検査は30分報告をしています。当院の『主な検査の基準範囲と注意点』についてまとめたものを、総合案内、臨床検査室に準備しておりますのでご利用下さい。

臨床検査部は、迅速で、安全かつ精度の高い検査を保証し、常に向上心をもって、診療支援の一翼を担っています。

外来診療のご案内

診療受付時間 ----- 休診日 ----- 紹介状持参のお願い -----
午前8時30分～午前11時00分 土曜日、日曜日、祝祭日、8月6日、初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか
*【眼科】火・木曜日 午前10時00分まで 年末年始(12月29日～1月3日) 1,570円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

かがやき

NO.26

平成23年2月

編集・発行

広島市立広島市民病院

〒730-8518 広島市中区基町7番33号
TEL / 082-221-2291 FAX / 082-223-5514

ホームページアドレス

http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/

患者さんに優しい医療への取り組み



病院長 大庭 治

病院長就任一年目は思いやり、二年目は院内連携、三年目は医療の質の向上をスローガンに病院の運営に当たってきましたが、増改築完成後の当院の状況はいかがでしょう。ご承知のごとく他に例のない急速な高齢化の影響もあり、

来年度国家予算に占める社会保障関係費は対前年度伸率5.3%でした。他の主要経費がほとんど減額されている中で特徴的ですが、病院経営にはよい影響を与えるほどのことではないようです。また、昨年度の診療報酬改定で、当院のような大病院は手術点数の伸びにより少しは優遇されましたが、これまで不足していた部門や新しい事業のための増員による人件費の伸びで相殺され、数字上の経営改善にはなかなか結びついていないのが実状です。

しかし、入院治療実績を見みると、病床数743床で全国20位前後の患者数であり、5大がん総手術件数では全国10位の実績をあげています。また、循環器疾患の診療や周産期医療の実績においても全国上位ランキングに顔を出しています。これらは日々職員が粉骨砕身診療に当たっている結果であると自負しています。

さらに、患者さんの多様な価値観、個々の病状やライフスタイルにあった治療法が選択できるオーダーメイド医療を目指し、全職員一丸となってチーム医療に取り組んでいます。とかくいやな問題は先送りにしたいのが人情ですが、病は時を選びません。普段からまわりの方と病気になったときの備え、考え方について協議しておきたいものです。患者さんからの、積極的な治療への参加、提案など歓迎いたします。

また、当院は患者さんに優しい医療、いわゆる低侵襲治療に向かい努力しています。内視鏡を用いた治療ももちろんですが、もうひとつ代表的なものに血管内治療があります。大きく切開することなくカテーテルを用いて、多くの場合、局所麻酔により短期の入院で楽に治療を受けられます。さらに2年前から血管内治療センターを立ち上げ、放射線科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、循環器小児科などの診療科において、中四国では圧倒的な症例数を経験し、良好な成績をあげています。

大型医療機器の購入、高額な診療材料費など、決して病院経営にとって容易なことではありませんが、患者さんの要望に応えるため日夜研鑽を積んでいます。患者さんぜひ、合併症のリスクなども考慮して治療方法を選択決定してください。あらゆる要望に応えられるように努力させていただきます。

基本理念

広島市の中核病院として、患者さんの立場を尊重し、質の高い医療を提供します。

～基本理念実現のための3つの柱～

- 患者さんの立場を尊重し、信頼され満足される医療を提供します。
- 地域医療機関との連携のもとに、急性期医療を中心に高度な医療を提供します。
- 健全な病院運営に努め、良質で安全な医療を提供します。

患者さんの権利に関する宣言とお願い

広島市立広島市民病院は、信頼され満足される医療を提供するため、次のような患者さんの権利を尊重します。

- あなたには、個人として尊重される権利があります。
- あなたには、良質で適切な医療を平等に受ける権利があります。
- あなたには、診療に関して十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
- あなたには、自分自身の治療などについて、自分の意見を述べ、自ら決定する権利があります。
- あなたには、当院での医療に関するプライバシーを保護される権利があります。

これらの権利を守り、より良い医療を実現するには、患者さんと医療提供者とが力を合わせて取り組む必要があります。そのために、患者さんも積極的に医療に参加・協力する責任があることをご理解のうえ、ご協力くださるようお願いいたします。

最新の1.5T(テスラ)MR装置を導入しました

当院では2011年1月にMR装置を更新し、最新式1.5TMR装置「MAGNETOM Avanto」(マグネトム アバント)が稼働開始しました。紙面をかりて新機能の紹介をしたいと思います。

1 新たな形状と静穏技術

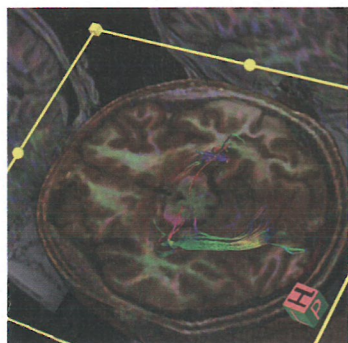
ガントリ(トンネル)の長さが160cmと従来よりも短く、ラッパ状のトンネル構造により、検査時の不安感を軽減しています。患者さんも足からガントリの中に入ることによって腹部骨盤以下の撮影では顔面がガントリ入口部近くの状態での撮影が可能で、閉所恐怖症の患者さんでも撮影可能となる場合があります。また、検査時の騒音も、検査中にヘッドフォンから音楽を聴くなどの静穏技術(オーディオコンフォート)により、従来にまして静かな検査が可能となっています。

2 Tim(Total Imaging Matrix)

Tim(ティム)とは、軽量のコイルを必要な部位に自在に組み合わせて使用できる機能です。検査を受ける患者さんもコイルが軽いので負担が軽減し、診断に必要な範囲の検査を簡単に行うことが可能になります。コイルの交換が簡便になるため、多彩な検査の準備が迅速に行えます。

3 Tractography

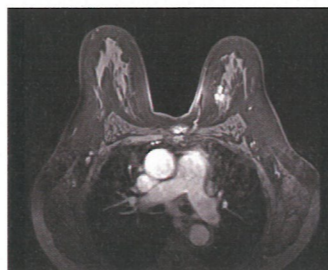
tractography(トラクトグラフィー)は、脳の神経線維を描出する手法です。脳内の主要な神経線維の走行や位置を把握することができるため(図1)、脳内の手術を行う上で、大変重要な情報をもたらしてくれます。このトラクトグラフィーを術前のシミュレーションで使うことによって、より良い術後予測が得られるものと期待されています。



(図1) 神経線維の走行が画像化されています。

4 乳腺MRI

両側の乳房を高画質で撮影することができる専用のコイルを導入しました。これにより検査目的の乳房だけでなく反対側の乳房も描出が可能となり、より質の高い診断をすることができるようになりました(図2)。また、この装置ではMRガイド下バイオプシー(針生検)が可能になり、エコーやMMG(マンモグラフィ)では検出されず、MRIでしか検出されなかった病変に対して、生検が行えるようになりました。現在、実施に向けて準備中です。

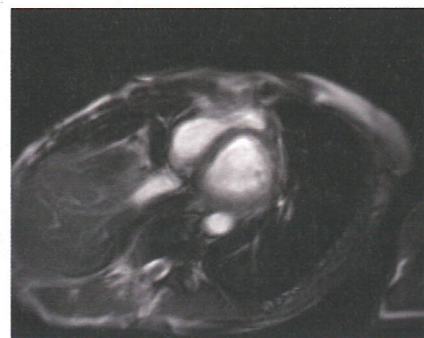


(図2) 左乳腺に乳癌と考えられる濃染像を認めます。

5 心臓MRI

心臓は呼吸と心臓自身の動きが重なるため、従来、MRIでは描出が難しい部位とされてきましたが、導入されたMR装置では、呼吸同期、心電図同期、高速撮像技術などを併用して、良好な画像を得ることができます(図3)。心臓MR検査は時間のかかる検査ですが、心疾患の診断や治療方針を決める上で、心電図、血管造影、CTなどの検査とともに重要な役割を担うと期待されています。

(図3) 左室と右室レベルの画像です。シネモードで心臓が拍動して見せることが可能です。



今回、最新型MR装置を導入したことで、広島市の中核病院としての診断機能をより強化することができました。患者さんに、今まで以上の質の高い医療を提供できるものと考えております。

看護部

シリーズ 病棟紹介 東9A:小児科病棟

プレパレーション(遊びを使った説明)で、子どもの“がんばり”を支えています!



説明の場面



チューブ模型



処置の説明に使う人形



手術室や検査室の木製の模型

私たち小児科病棟では、プレパレーションに取り組んでいます。プレパレーションとは、手術や検査・治療等を受ける子供が不安や恐怖心を持たないように、成長・発達に応じた遊びを取り入れて心の準備を支援することです。例えば、模型を使って「ごっこ遊び」をすると泣かずに手術室に入れたり、点滴などの処置を泣いても動かずに頑張る事が出来ます。処置終了後には、好きなキャラクターのシールを渡してしっかりほめることで次の頑張りにもつながっています。

入院環境によるストレスを和らげるために、これからも積極的に取り組んでいきます。

～看護部に～

今年も2名の認定看護師が誕生しました。

(認定看護師 現在14名)



緩和ケア認定看護師
井上 智恵

私は、2009年9月に、広島大学大学院附属先駆的看護実践支援センターで半年間学びました。その後社会保険神戸中央病院・緩和ケア病棟で1ヶ月にわたる病棟実習の研修を終えて緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。現在は、病棟勤務の中で患者さんの痛みや苦痛が軽減できるよう努力している毎日です。当院は地域がん診療連携拠点病院です。一人でも多くの患者さん・ご家族の方に寄り添い、自分らしい生活を送って頂けるような支援をしていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



感染管理認定看護師
多田 裕貴

私は、2009年5月から半年間、東京清瀬市の日本看護協会看護研修学校で学び、2010年の7月感染管理認定看護師の資格を取得しました。

感染管理認定看護師は、インフルエンザなどの感染症対策を始め、医療に関連した感染の減少を目指し、いろいろな役割を担っています。

現在ICU(集中治療室)に勤務しています。外来受診中や入院中の患者さんを感染から守るため、相談会や学習会を通じて多くの部署の人達と情報を共有し、病院の環境作りを推進していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。